

# 豚用混合飼料 「ぶたプリン」

水と混合するとゲル化する、離乳前後の子豚のための豚用混合飼料です

## ●ぶたプリンの特長

水との混合によりゲル化し、プリン状に固まります。

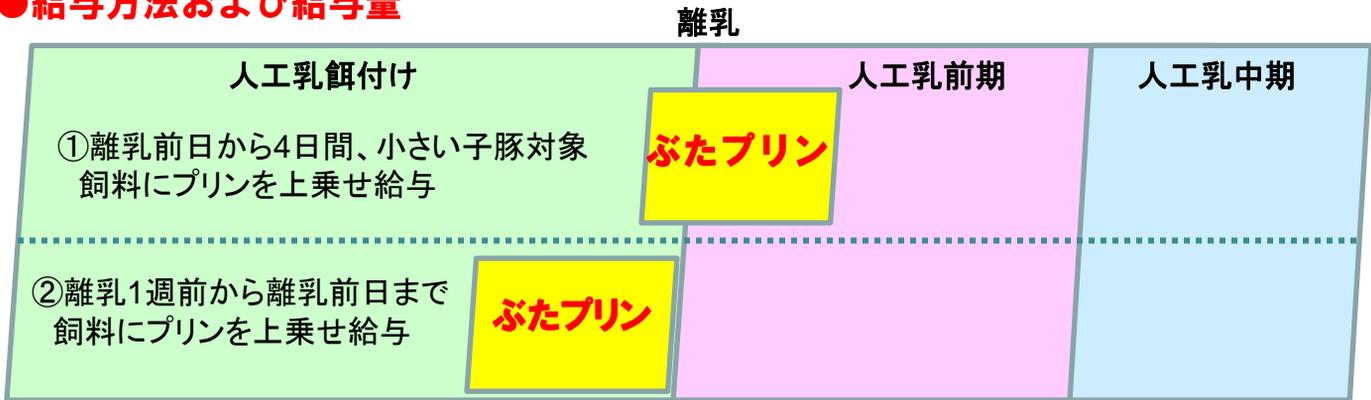
離乳前後の子豚の嗜好性が優れ、固形飼料の食下量の立ち上がりをサポートします。

また、大量の水を必要とする子豚への水分補給効果が期待できます。

子豚の迅速なエネルギー吸収のため、中鎖脂肪酸を使用しています。

子豚の腸管発達や健康性を考慮し、イチョウ葉抽出物、ハーブ精油、タウリンを配合しています。

## ●給与方法および給与量



ぶたプリン は子豚1頭当たり10gを目安に、1日1～2回給与して下さい。

## ●期待効果

①**ぶたプリン**の形状は顆粒と液体の中間で、嗜好性が優れます。飲水が不十分になりやすい離乳時には**ぶたプリン**による水分補給と、食欲刺激による人工乳摂食促進や小腸絨毛発達により、離乳体重が小さい子豚のスムーズな発育が期待できます。

②また、**ぶたプリン**を離乳前から離乳体重が小さくなる可能性のある腹に対して給与することで、母乳や人工乳餌付けの摂取をサポート(水分補給やエネルギー補給効果)し、離乳率、離乳体重改善が期待されます。

## ●ぶたプリンの作り方

**ぶたプリン**に対し4～6倍量の水を使用して下さい。バケツと泡だて器(料理用)を用意し、バケツに水を入れ、その上に**ぶたプリン**を投入し、混合して下さい。

混合後は静置して下さい。5～6分ほどで固まります。

## ●包装

5kgアルミパウチ

日清丸紅飼料株式会社

本社 TEL.03-5201-3230  
総合研究所 TEL.0287-37-2111

北海道支店 TEL.0134-34-2363  
東北支店 TEL.022-217-9766  
関東支店 TEL.0299-92-4981  
中部支店 TEL.0566-42-2821

西部支店 TEL.086-444-8121  
北九州支店 TEL.092-433-8210  
南九州支店 TEL.099-269-1661

## ●子豚への飲水の重要性

豚は多量の水を必要とし、離乳子豚は1日あたり体重の10%に相当する水を要求すると言われています。離乳時のストレスや飲水器の形状が変わることにより、離乳子豚は十分な飲水ができず脱水状態になりやすいとの指摘があり、水分補給が重要と考えられます。

## ●ぶたプリン給与試験

### ①離乳子豚試験(岩手県S農場)

離乳から5日間、ぶたプリンを人工乳顆粒に上乘せ給与することで日増体の改善傾向(図2)に加え、その後の体重のばらつきが小さくなる傾向が見られています(図3)。

図2: 離乳後5日間の日増体

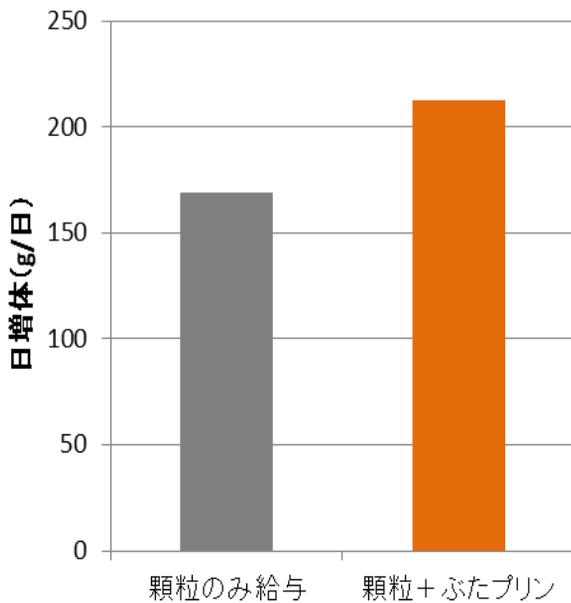
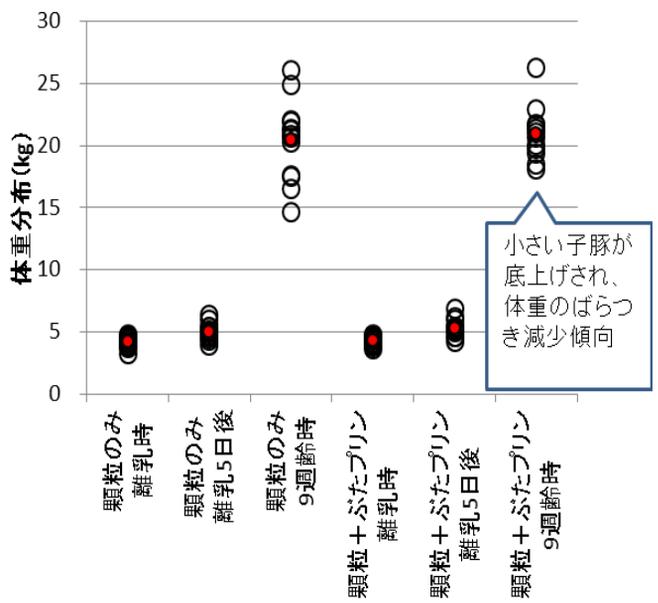


図3: 9週齢までの個体別体重推移



### ②哺乳中子豚試験(弊社総合研究所、岩手県S農場)

離乳1週前から離乳前日まで、ぶたプリンを人工乳餌付けに上乘せ給与することで離乳率の増加や離乳時腹体重の増加が見られています(表1)。

表1: 離乳1週前から離乳前日までのぶたプリン給与による離乳成績比較  
(上段: 弊社総合研究所 下段: 岩手県S農場)

	離乳率	開始子豚数	離乳子豚数	離乳時腹体重	平均離乳体重
	%	頭/腹	頭/腹	kg/腹	kg
餌付け人工乳のみ給与	<b>86.7</b>	12.7	11.0	<b>75.4</b>	6.85
餌付け+ぶたプリン給与	<b>95.3</b>	10.7	10.2	<b>79.9</b>	7.83
餌付け人工乳のみ給与	<b>94.0</b>	11.1	10.4	<b>73.2</b>	7.01
餌付け+ぶたプリン給与	<b>97.0</b>	11.1	10.8	<b>74.3</b>	6.90

## ●保存時、使用上の注意

この製品は吸湿性がありますので開封後なるべく早くご使用ください。  
青い色の斑点や黄色の液が見られることがありますが、栄養成分によるもので品質に影響はありません。  
作ったプリンは、その日の内に使い切ってください。